

平成22年11月5日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成22年12月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第14228号	トップジンMゾル	チオファネートメチル水和剤	日本曹達株式会社
第14230号	ホクコートトップジンMゾル	チオファネートメチル水和剤	北興化学工業株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「れんこん」について、本剤の使用回数およびチオファネートメチルを含む農薬の総使用回数を「3回以内」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

【変更前】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数
れんこん	褐斑病	20倍	3L/10a	収穫75日前まで	5回以内	空中散布	5回以内

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数
れんこん	褐斑病	20倍	3L/10a	収穫75日前まで	<u>3回以内</u>	空中散布	<u>3回以内</u>

【変更理由】

登録維持に必要な追加の資料整備に時間と経費を要するため。

平成22年11月5日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成22年12月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第11573号	トップジンM水和剤	チオファネートメチル水和剤	日本曹達株式会社
第11574号	クミアイトップジンM水和剤	チオファネートメチル水和剤	アライ化学工業株式会社
第11575号	ホクコートップジンM水和剤	チオファネートメチル水和剤	北興化学工業株式会社
第11576号	ヤシマトップジンM水和剤	チオファネートメチル水和剤	協友アグリ株式会社
第20976号	日農トップジンM水和剤	チオファネートメチル水和剤	日本農薬株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

作物名「茶」における本剤の使用回数及びチオファネートメチルを含む農薬の総使用回数を「2回以内」から「1回」に変更する。

作物名「セルリー」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかる部分のみ）】

【変更前】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数
茶	炭疽病 白星病 褐色円星病 輪斑病	1500～ 2000倍	—	摘採7日 前まで	2回以内	散布	2回以内
	黒葉腐病	1500倍					
セルリー	斑点病	1500倍	—	収穫7日 前まで	2回以内	散布	3回以内 (種子への処理は 1回以内、は種後 は2回以内)

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアネートMPLを含む農薬の総使用回数
茶	炭疽病 白星病 褐色円星病 輪斑病	1500～ 2000倍	—	摘採7日 前まで	1回	散布	1回
	黒葉腐病	1500倍					

作物名「セルリー」を削除。

【変更理由】

登録維持に必要な追加の資料整備に時間と経費を要するため。

平成22年11月5日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成22年12月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第12796号	トップジンM粉剤	チオファネートメチル粉剤	日本曹達株式会社
第12798号	ホクコートトップジンM粉剤	チオファネートメチル粉剤	北興化学工業株式会社
第21800号	ヤシマトップジンM粉剤	チオファネートメチル粉剤	協友アグリ株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「れんこん」について、本剤の使用回数およびチオファネートメチルを含む農薬の総使用回数を「3回以内」に変更する。

作物名「てんさい」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

【変更前】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数
れんこん	褐斑病	3~4 kg/10a	収穫前日まで	5回以内	散布	5回以内

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数
てんさい	褐斑病	3~4 kg/10a	収穫7日前まで	5回以内	散布	5回以内

【変更後】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数
れんこん	褐斑病	3~4 kg/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内

作物名「てんさい」を削除。

【変更理由】

登録維持に必要な追加の資料整備に時間と経費を要するため。

平成22年11月19日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成22年12月22日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第13873号	カルホス微粒剤F	イソキサチオン粉粒剤	保土谷UPL株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「やまのいも」、「やまのいも（むかご）」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

【変更前】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イカリカキを含む農薬の総使用回数
やまのいも	コガネムシ類 幼虫	9 kg/10a	成虫飛来 最盛期 (7~8月、但し 収穫14日前まで)	2回以内	表面土壌散布	2回以内
	ケラ		収穫14日前まで			
やまのいも (むかご)	コガネムシ類 幼虫		成虫飛来 最盛期 (7~8月、但し 収穫30日前まで)			
	ケラ		収穫30日前まで			

【変更後】

削除

【変更理由】

登録維持に必要な追加の資料整備に経費と時間を要するため。

平成22年11月19日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成22年12月22日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20690号	ツリーセーブ	イソプロチオラン水和剤	ヤシマ産業㈱

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

既登録の作物名「ひのき」及び「すぎ」の「本剤の使用回数」及び「イプロチオランを含む農薬の総使用回数」をそれぞれ「5回以内」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	使用目的	適用害獣名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イプロチオランを含む農薬の総使用回数
ひのき すぎ	ニホンジカ カモシカ 野ウサギ による 食害防止	ニホンジカ カモシカ 野ウサギ	原液	10～50ml/1本	食害発生前	—	散布	—

〔変更後〕

作物名	使用目的	適用害獣名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イプロチオランを含む農薬の総使用回数
ひのき すぎ	ニホンジカ カモシカ 野ウサギ による 食害防止	ニホンジカ カモシカ 野ウサギ	原液	10～50ml/1本	食害発生前	5回以内	散布	5回以内

【変更理由】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

3. 無人ヘリコプター散布用登録農薬一覧 (殺菌剤)

提供:(社)農林水産航空協会
(平成21年12月2日現在)

	農薬名	成分名及び成分量 (%)	作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	散布量 (kg/10a)
2	カスミン液剤	カスガマイシン 2	稲	いもち病	5~8	0.8

(殺虫剤)

(平成21年12月2日現在)

	農薬名	成分名及び成分量 (%)	作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	散布量 (kg/10a)
13	マラパッサ乳剤	マラソン 30	稲	ツマグロヨコ	8	0.8
		BPMC 40		ハイ、ウンカ		
14	パッサ乳剤	BPMC 50	稲	ツマグロヨコ ハイ、ウンカ 類	8	0.8
17	スミチオン乳剤	MEP 50	稲	ニカメイチュウ、カメムシ	8	0.8
			麦類 (小麦を除く)	アブラムシ類	8	0.8
			小麦	アブラムシ類	8	0.8
			だいず	ダイズサヤタマバエ、シロイチ、モジマダラメイガ、ダイズサヤムシガ、カメ	8	0.8
			かんきつ	クシキスイ類、コアオハナムグリ、アザミウマ類	10	5
			さとうきび	カンシャコバネナガ、カメムシ	25	6
19	スミパッサ乳剤75	BPMC 30	稲	ツマグロヨコ	8	0.8
		MEP 45		ハイ、ウンカ		

2 麦の病害虫

8 アブラムシ類

C 薬剤防除法

1 麦類

農薬名	一般名
スミチオン粉剤 2DL	MEP粉剤

2 麦類 (小麦、大麦を除く)

農薬名	一般名
スミチオン乳剤	MEP乳剤

3 小麦

農薬名	一般名
エルサン乳剤	PAP乳剤
エルサン粉剤 2	PAP粉剤
スミチオン乳剤	MEP乳剤
トレボン粉剤 DL	エトフェンプロックス粉剤

4 大麦

農薬名	一般名
スミチオン乳剤	MEP乳剤

B 常緑果樹の病害虫防除指針

1 カンキツの病害虫

1.1 カメムシ類

C 薬剤防除法

カンキツ

使用時期	系統名・農薬名	一般名
発生初期	有機リン系	
	スミチオン乳剤	M.E.P.乳剤
	ピレスロイド系	
	MR.ジョーカー水和剤	シラフルオフエン水和剤
	テルスター水和剤	ピフェントリン水和剤
	ロディー乳剤	フェンプロバトリン乳剤
	ネオニコチノイド系	
	アドマイヤーフロアブル	イミダクロプリド水和剤
	アルバリン顆粒水溶剤	ジノテフラン水溶剤
	スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン水溶剤

1.4 アブラムシ類

C 薬剤防除法

カンキツ

使用時期	系統名・農薬名	一般名
発生初期	有機リン系	
	スミチオン乳剤	M.E.P.乳剤
	カーバメート系	
	オリオン水和剤40	アラニカルブ水和剤
	ネオニコチノイド系	
	アドマイヤーフロアブル	イミダクロプリド水和剤
	アルバリン顆粒水溶剤	ジノテフラン水溶剤
	スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン水溶剤
	モスピラン水溶剤	アセタミプリド水溶剤
	その他	
ハチハチフロアブル	トルフェンピラド水和剤	

2.0 ゴマダラカミキリ

C 薬剤防除法

果樹類

使用時期	農薬名	一般名
5月下旬～6月上旬 (成虫発生初期)	バイオリサ・カミキリ	ボーベリア ブロンニアティ剤

注) 適用害虫はカミキリ類

地際に近い主幹の分枝部分等に架ける。成虫発生初期に、広域に施用する。

カンキツ (枝幹散布)

使用時期	農薬名	一般名	登録害虫
5月下旬～6月中旬	サッチューコートS	M.E.P.乳剤	A
	モスピラン水溶剤	アセタミプリド水溶剤	B
	モスピランSL液剤	アセタミプリド液剤	B

注) 適用害虫はA:カミキリ類 B:ゴマダラカミキリ成虫、ゴマダラカミキリ

(カンキツ)

22 ハマキムシ類 (ミカンマルハキバガ、チャノコカクモンハマキ、チャハマキ)

C 薬剤防除法

カンキツ

使用時期	農薬名	一般名
新梢伸長期	スミチオン乳剤 オリオン水和剤40	MEP乳剤 アラニカルブ水和剤

注) ハマキムシ類での登録

28 ミカンナガタムシ

C 薬剤防除法

カンキツみかん

使用時期	農薬名	一般名
羽化脱出直前 (5月中～下旬)	ガットサイドS	MEP乳剤

注) ガットサイドSは使用方法に注意すること。但し、使用時期は収穫90日前まで。

29 カネタタキ

C 薬剤防除法

カンキツみかん

使用時期	農薬名	一般名
7月下旬～9月中旬	スミチオン乳剤	MEP乳剤

C 落葉果樹の病害虫防除指針

1 クリの病害虫

7 カミキリムシ類

C 薬剤防除法

クリ

使用時期	農薬名	一般名
6月～8月	サッチューコートSセット トラサイドA乳剤	MEP乳剤 マラソン・MEP乳剤

注) 樹幹部等に散布する。

10 コウモリガ

C 薬剤防除法

クリ

使用時期	農薬名	一般名
5月上旬～7月 (幼虫食入期)	ガットサイドS サッチューコートSセット	MEP乳剤 MEP乳剤

注1) 樹幹部等に散布する。

注2) ガットサイドSの使用時期は、裂果前まで、但し収穫90日前まで。

注3) サッチューコートSの使用時期は、幼虫食入期直前～幼虫食入初期、但し収穫90日前まで。

2 ブドウの病害虫

(2) 虫害の部

1 チャノキイロアザミウマ

C 薬剤防除法

ブドウ

使用時期	農薬名	一般名
落花期～袋かけ期	アディオンフロアブル	ペルメトリン水和剤
	スカウトフロアブル	トラロメトリン水和剤
	パダンSG水溶剤	カルタップ水溶剤
袋かけ後	アグロスリン水和剤	シペルメトリン水和剤
	アドマイヤー水和剤	イミダクロプリド水和剤
	オルトラン水和剤	アセフェート水和剤
	ジェイエース水溶剤	アセフェート水和剤
	モスピラン水溶剤	アセタミプリド水溶剤

2 ヒメヨコバイ・フタテンヒメヨコバイ

C 薬剤防除法

ブドウ

使用時期	農薬名	一般名
5月下旬～7月	アグロスリン水和剤	シペルメトリン水和剤
	アディオンフロアブル	ペルメトリン水和剤

5 コガネムシ類

C 薬剤防除法

ブドウ

使用時期	農薬名	一般名
5月～9月	アディオンフロアブル	ペルメトリン水和剤
5月～6月	マイクロデナポン水和剤85	NAC水和剤